

注目② レストハウスの建て替えに向け

平成30年度平戸市一般会計補正予算(第3号)中、「(仮称)平戸観光交流センター整備事業」

(仮称)「平戸観光交流センター(レストハウス)」の建て替えに伴い、ボーリング調査、解体・新築工事設計、解体工事に伴う建物影響調査、既存建物解体工事などを実施する。

事業費
4,182万4,000円

整備の方向
新たな施設は、延べ床面積400㎡で木造平屋建てを予定。施設の内容は、観光客や市民などが自由に休憩できるスペース(持ち込み飲食も可)や、ボールプール・滑り台など、子どもたちが雨天時でも楽しく遊べる親子の広場、平戸のお土産を販売する物品販売スペースなどを整備予定。

注目③ 子どもたちがお仕事体験!

平成30年度平戸市一般会計補正予算(第3号)中、「わくわくドキドキ子どもジョブチャレンジ事業」

昨年度好評だった「わくわくドキドキ子どもジョブチャレンジ事業」を本年度も実施(平成31年3月予定)。地元企業、大手旅行代理店、子ども向け職業体験型テーマパークと連携し、市内外の子どもたちが市内でさまざまな職業を体験する。



【平成29年度に実施されたわくわくドキドキ子どもジョブチャレンジ事業の様子】

事業費
750万円

注目④ 市民の命を守る医師の処遇を改善

平成30年度平戸市病院事業会計補正予算(第1号)

本市市立病院(平戸市民病院、生月病院)の医師の給与は、長崎県病院企業団の離島病院(五島中央病院など)および近隣民間病院の医師給与と比較すると低水準であることから、本年4月から両市立病院の管理職・医師が参加する経営検討会・管理者会の中で引き上げについて検討を重ね、9月定例会に医師手当(月額)を副院長以上の管理職は5万円、管理職以外は10万円加算する補正予算が提案された。市民の命を守る医師を確保するためには、給与改定は必要であることを認め、可決した。

【年収の比較】 (単位:円)

医師免許取得歴	長崎県病院企業団		①②の平均	平戸市民病院	①②平均との比較
	①島原病院	②五島中央病院			
3年	10,861,600	15,313,696	13,087,648	12,472,640	△615,008
6年	11,600,800	16,097,248	13,849,024	12,592,640	△1,256,384
8年	13,329,600	17,064,576	15,197,088	12,916,480	△2,280,608
12年	14,014,400	17,790,464	15,902,432	13,900,160	△2,002,272

市立病院	医師手当月額10万円加算後の年収と①②平均との比較
13,672,640	584,992
13,792,640	△56,384
14,116,480	△1,080,608
15,100,160	△802,272

出典:長崎県病院企業団ホームページ

9月定例会 ここに注目!

9月定例会が9月3日から14日までの12日間の日程で開催されました。今回提案された平成30年度一般会計・各特別会計・各事業会計補正予算、条例の一部改正についてなど、議案20件を慎重な審議の結果、原案のとおり承認・可決・同意しました。なお、平成29年度平戸市一般会計決算認定についてなど、決算関係議案13件が決算特別委員会に付託され、9月19日から21日および25日から27日までの6日間の日程で審査を行いました。審査の内容は、12月定例会で報告します。

注目① ICTを教育に活用!

物品購入契約の締結について(平戸市ICT教育推進整備事業)

ICT教育推進整備事業
児童・生徒の理解力向上を図るため、児童・生徒の実態に応じたICT教育環境の整備を図り、ICTを学びのツールとして活用することを目的に、現在、市内各小・中学校でICT機器の導入を進めている。

契約金額
3,720万9,240円〔小学校費:2,060万7,156円/中学校費:1,660万2,084円〕

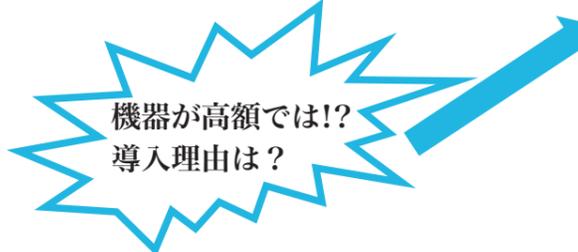
平成30年度に導入される機器

【小学校】	【中学校】
児童用タブレット機能付PC 67台	生徒用タブレット機能付PC 54台
授業支援ソフト 95ライセンス	授業支援ソフト 74ライセンス
その他(パソコン室用プリンタ6台など)	その他(パソコン室用プリンタ3台など)

児童・生徒用タブレット機能付PC1台あたりの金額

- 25万6,500円(税込)
- (本体および付属品等の内容)
- ・タブレット機能付PC
- ・21.5型ワイドディスプレイ
- ・拡張クレードル
- ※機器を設置した状態で充電やデータの転送などができる
- ・キーボード、マウス等付属品
- ・タブレットケース
- ・保守パック(5年) など

市の回答
各小中学校のパソコン室に設置しているノートPCのOS(基本ソフトウェア)のサポート切れに備えるとともに、更新時期のノートPCを持ち運びができるタブレット機能付PCに順次切り替え中。新学習指導要領では、双方向の授業が求められており、授業支援ソフトを導入する必要がある。実証実験では、スペック(性能)の低い安価なタブレット機能付PCは、動画再生や双方向の通信をする際に動きが悪くなることを確認した。また、安価なタブレット機能付PCを導入した他自治体でも同様の事例が見られた。貴重な学習時間内に授業が滞ることなく、効果的な学習を実施するためにも、今回導入予定機器が必要。



委員会での審査内容は5ページをご覧ください。

▶ 常任委員会報告

総務厚生委員会

■平成30年度平戸市一般会計補正予算(第3号)

■歳入の寄附金

Q カトリック山田幼稚園が平成30年3月末で閉園したことに伴い、園を運営していた学校法人うみのほし学園が学園の定款を改正するなどし、市に対し一般寄附金として2千万円を寄附していただいたが、学園に対する配慮から使途が限られてくるのか。

A 一般寄附であり、使途に制限はないものの、寄附者側の意向もいただいているので、配慮しながら寄附金を活用していきたい。

【財務部企画財政課】

■平成30年度平戸市交通船事業会計補正予算(第1号)

Q 現在、海事職7人、臨時職員2人によって運航されているが、以前から指摘しているように後継者を育てる手立てがなされていないのではないか。特に平成31年3月(予定)から大型化さ

れた新船となり、これまで以上に確実な運航が求められるがどのように考えているのか。

A 免許を取得するための研修場所は県外にしかなく、免許を持たない臨時職員は仕事を休み受講しなければならぬ。受講期間は無給となるなど生活面で不安が生じることは認識しているものの、これまで個人の免許取得に関わるものとして補助制度は設けてこなかった。

しかし、臨時職員などを募集しても応募がないこと、一方でUターン者などが交通船で働ける環境を整備しなければならぬと人手不足が顕著になりつつあることから、これまでの経過を踏まえながら早期に船員確保策を打ち出していきたい。また、引き続き海上自衛隊などに協力を仰ぎ、船員確保に努めたい。

【大島支所地域振興課】



▲平成31年3月(予定)から導入される新フェリー大島

■平成30年度平戸市病院事業会計補正予算(第1号)

Q 平成30年10月支給分から改正予定の医師給与について、医師手当(月額)を副院長以上の管理職は5万円、管理職以外については10万円を加算した理由は何か。

A 長崎県病院企業団と比較した場合、医師給与の水準が低いことから、本年4月から両病院の管理職・医師が参加する経営検討会・管理者会の中で給与改定の検討を重ねてきた。

病院の経営面を考慮しながらも医師確保の打開策の一つとして、若い医師に配慮した医師手当を定額とする改正内容に管理職の理解を得て決定した。

Q 医師給与を引き上げたことを医師確保につなげていくため、どのように周知していくのか。

A ながさき地域医療人材支援センター、ホームページおよび医師の出身医局を通じて処遇改善を図ったことを伝え、医師確保につながるよう努めていきたい。

【病院局】

産業建設文教委員会

■平成30年度平戸市一般会計補正予算(第3号)

■わくわくドキドキ子どもジョブチャレンジ事業

Q この事業は、昨年度実施され、大変好評であったと聞いているが、今年度の経済効果は昨年を下回る試算額となっている。人気の高い体験メニューの受け入れ人数の拡充や、受け入れ体制の充実により集客増加につなげ、昨年以上の実績は望めないのか。

A 参加者へのアンケートの結果、約9割の方から好評の結果が得られていることから、今後は受け入れ施設の拡充を図り、参加者を増やしていきたい。また、昨年度の参加者は多かったものの、観光施設の入館者の増につなげていないことは改善すべき点であり、今年度は周知や実施方法の見直しを含め、入館者数の増加につなげるなど経済効果の拡大に向け努力していきたい。

【文化観光商工部観光課】

●(仮称)平戸観光交流センター

―整備事業

Q 整備後の運営方法や平戸版DMO(官民など幅広い連携)によって地域観光を積極的に推進する法人組織の姿が見えない状況で、建設の必要性が不明確ではないか。

A 必要性や運営方法については、施設の老朽化のほか、市民や観光客の利便性の向上を図ることを目的としており、観光協会もDMOを組織することにより、平戸観光の発信拠点として整備していきたい。平戸版DMOについては、現在専門の方を招聘し3年間をかけて組織を立ち上げるようにしている。2年後には登録申請ができるよう、ワーキンググループを作っておいて方針等を検討中である。

Q 当該施設を建設することによって得られる効果や平戸版DMOの拠点施設とはどういうものかということ、議会だけでなく多くの市民に説明できる資料を作成し、できるだけ早期に示す必要があるのではないか。

【文化観光商工部観光課】

■物品購入契約の締結について

●平戸市ICT教育推進整備事業

Q 今回購入予定のタブレット機能付パソコンが一般的に使用されているものと比べ、高額で高スペック(性能)の機器である理由は何か。

A ①パソコン室に設置しているパソコンが更新時期であること。また、Windows7のサポート期間終了に伴うセキュリティの問題からWindows10にOSを移行する必要があること。併せて、体育や屋外での授業に持ち出して活用できるタブレット機能を有するパソコンであること。



▲導入予定機器と同型のタブレット機能付PC等

賛否が分かれたが、可決された案件

議員氏名 (議席番号順)	採択結果	賛成	反対	山崎一洋	池田稔巳	山田能新	田島輝美	山内政夫	松尾実	小山田輔雄	神田全記	近藤芳人	井元宏三	松本正治	辻賢治	吉住威三美	竹山俊郎	山本芳久	山内清一	綾香良一	大久保堅太	
																						議案名
77	平成30年度平戸市一般会計補正予算(第3号)	可決	15:2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議長は、可否同数の時以外、採決に加わらない。
※その他の上程された議案については、議員の全員賛成で可決。

政務活動報告

政務活動費とは、市政に関する調査研究・市政と関連性があるその他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派に対し所属議員数に応じて交付されるものです。(1人当たり月額1万円)

	研修者氏名	研修・調査内容	研修地
平伸会	近藤 芳人 綾香 良一 山田 能新 神田 全記 小山田 輔雄	7月2日～4日 ①中央省庁(農林水産省、厚生労働省、国土交通省)政策研修 ②地域医療の先進地視察	①中央省庁(東京都千代田区) ②諏訪中央病院(長野県茅野市)
大地の会	山本 芳久 大久保 堅太 松本 正治 井元 宏三		
日本共産党	山崎 一洋	7月21日～23日 自治体学校「憲法を暮らしにいかす地方自治」	福岡市：福岡市民会館 西南学院大学

全ての報告は、議会事務局にて閲覧できます。

市議会からのお知らせ

市議会(定例会・臨時会)は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、市役所本庁4階議場傍聴席までお越しください。なお、本会議および委員会の模様は、市役所本庁1階ロビー・各支所・出張所等のテレビでもご覧いただけます。また、インターネット中継も行なっていますので、ぜひ、ご覧ください。なお、次回定例会は12月に予定されています。

平戸市議会インターネット議会中継

検索

9月定例会で審議された案件

報告番号	件名	結果
10	平戸市国民保護計画の変更について	報告済
11	平成29年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃
12	公益財団法人平戸市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	〃
13	平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告について	〃
14	専決処分の報告について	〃
承認番号	件名	結果
2	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案番号	件名	結果
63	平成29年度平戸市一般会計決算認定について	継続審査
64	平成29年度平戸市国民健康保険特別会計決算認定について	〃
65	平成29年度平戸市後期高齢者医療特別会計決算認定について	〃
66	平成29年度平戸市介護保険特別会計決算認定について	〃
67	平成29年度平戸市農業集落排水事業特別会計決算認定について	〃
68	平成29年度平戸市宅地開発事業特別会計決算認定について	〃
69	平成29年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計決算認定について	〃
70	平成29年度平戸市電気事業特別会計決算認定について	〃
71	平成29年度平戸市駐車場事業特別会計決算認定について	〃
72	平成29年度平戸市工業団地事業特別会計決算認定について	〃
73	平成29年度平戸市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	〃
74	平成29年度平戸市病院事業会計決算認定について	〃
75	平成29年度平戸市交通船事業会計決算認定について	〃
76	平戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
77	平成30年度平戸市一般会計補正予算(第3号)	〃
78	平成30年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃
79	平成30年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
80	平成30年度平戸市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
81	平成30年度平戸市病院事業会計補正予算(第1号)	〃
82	平成30年度平戸市交通船事業会計補正予算(第1号)	〃
83	公有水面埋立免許出願に係る意見について	〃
84	工事請負契約の変更について	〃
85	物品購入契約の締結について	〃
86	物品購入契約の締結について	〃
87	物品購入契約の締結について	〃
88	平戸市教育長の任命につき同意を求めることについて	同意
89	平戸市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〃

平成30年9月定例会、7人の議員が一般質問に立つ (文責は、いずれも本人)

市政を問う!

平成30年9月定例会

●市の障害者雇用率は1.71%。県内で最低クラス
違法状態の是正には、5人の雇用が必要
●税金はレストハウスより、暮らしや教育に



山崎 一洋議員

Q 障害者の雇用水増しが、大きな問題になっている。中央省庁は「障害者手帳」の確認など、ガイドラインを守っていないかった。平戸市では違反はないか。

A 総務部長

「障害者手帳」を確認している。

Q 市の障害者雇用率は1.71%。法律で定められた2.5%を大きく下回っている。長崎県内の自治体の中で、最低クラスだ。現在、何人の障害者を雇用しているのか。また、違法状態を是正するには、何人の雇用が必要か。

A 総務部長

障害者は8人在籍。うち3人が重度障害者。重度障害者は2倍に計算してもよいので、11人ということになる。25%を達成するには、5人の雇用が必要。

Q 違法状態にある現状をどう是正するつもりか。

A 市長

整備活用検討委員会には十分に市民の意見が反映されている。議員にも十分意見交換をしてきた。

Q 世界遺産登録後の観光客の動向とレストハウス建設の必要性について問う。

A 文化観光商工部長

施設によって違つてはいるが微増といったところである。レストハウスについては、検討委員会の答申、利便性と施設のバリアフリー化なども含め、情報の発信拠点としても建設の必要性があると考えている。

Q 2億5千万円の税金を使うレストハウス建て替えが、本格的に始まる。この9月市議会に、4千万円超の補正予算案が提出された。事業を一旦止めて、市民説明会など、市民の声を聞く機会を設けるべきだ。そして、市民の声に基づいて、計画を抜本的に見直す。場合によっては建て替えを中止すべきだ。

A 文化観光商工部長

整備活用検討委員会には十分に市民の意見が反映されている。議員にも十分意見交換をしてきた。

Q 医師の高齢化および医師不足は、活動に努めている。

A 病院局長

本年6月に総合診療科医師1名(期限半年間)を確保できた。

Q 患者(家族等)を中心に据えたチーム医療・地域包括ケアシステムをどう展開していくか。

A 福祉部長

超高齢社会への対応として、誰もが地域で安心して暮らし続けられるよう、医療や福祉、介護の予防体制を整備し、住まいや日常生活の一体的な地域包括ケアシステムを築く。

Q 従来、平戸市民病院では、サングラスを設置し、先進的にケアシステムを構築した。両病院で患者に寄り添った院内ホストやサービスマン向上委員会の活動など高く評価できる。今後、老人の孤独死がなく、安心して平戸に嫁いでもらう大切な条件だ。

A 農林水産部長

不採算地区である平戸市民病院・生月病院は、国の財政措置で安定的な経営が継続できている。

●安全で安心な市民生活のための防災対策の現状を問う



池田 稔巳議員

Q 平戸市では、自然災害(主に台風)等により被害が出ている。原発事故やミサイル攻撃による災害も忘れてはならない。平戸の地域に合った対策は考えているのか。

A 市長

平戸市では地域防災計画を策定しており、平戸市の土地条件、社会条件等を踏まえ災害予防計画や災害応急対策について詳細に記載し、年度ごとに経験を踏まえた充実を図ってきている。今後も国や県、専門機関、民間事業者、自主防災組織と連携し、自助・共助・公助の三つの柱で安心・安全なまちづくりを実現していきたいと考えている。

Q 7月初旬の西日本豪雨では、農地や公共土木災害等で合計292カ所の被害があったとの報告であるが、災害からの避難や警戒の周知の手段と対応の充実はなされているのか。

A 総務部長

防災無線は市内に215カ所設置されており、一度に鳴らすと共鳴する。

Q 病院の経営状況患者動向を踏まえ、一つの市に二つの市民病院があることに對しての考え方は。

A 市長

両病院とも運営状況はおおむね良好。市内の人口減少は続いているが、医療を必要とする65歳以上の年齢構成が増加傾向にあり、これから医療機関の必要性は高まっている。今後10年・15年ほどは現場の体制を維持しなければいけないと考えている。また平戸市に二つの市民病院がある意味は、各地域の救急医療を担い「保健」「医療」「福祉」全ての分野にサービスを提供している重要な拠点施設で、これを維持することも市民に対して重要なことであるため、現状で合併の考えはない。

Q 近年、ため池崩壊の災害が起きているが平戸市の状況は。

A 農林水産部長

対策が必要とされた箇所は一カ所で、修復を行うように予定している。

●市立病院について
●災害時の道路対策と新たな災害対策について
●産業振興について



井元 宏三議員

Q 下流域に主要道路や住宅がある箇所ではハザードマップを作り、地域とのリスク情報を共有している。また、地元管理者とも情報を共有し災害予防に努めている。

Q 平戸市内の商業施設に対して接客の悪さが指摘されているが、何か対策はとっているのか。

A 文化観光商工部長

おもてなしや接遇向上の取り組みを行なっているが、一部改善した店舗も見受けられるが、事業主や従業員の意識が低く、指導改善を行なっても長続きしない状況。

Q 世界遺産登録後の観光客の動向とレストハウス建設の必要性を問う。

A 文化観光商工部長

施設によって違つてはいるが微増といったところである。レストハウスについては、検討委員会の答申、利便性と施設のバリアフリー化なども含め、情報の発信拠点としても建設の必要性があると考えている。

Q 「レストハウス」の別の名称を一般公募してどうか。

A 文化観光商工部長

良い考えだと思つて検討していきたいと思う。

●持続可能な公立病院の在り方について



竹山 俊郎議員

公立病院が今後とも地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、抜本的な改革は避けて通れない課題である。本市の両病院も例外ではなく、医師確保については、長年の課題として取り組んできているが、現状と今後の対応について伺う。

●病院長

病院局の大きな課題が、年々厳しくなる医師確保や医師の高齢化である。今年度当初で、平戸市民病院は常勤医師6人、非常勤医師1人、常勤換算で6.5人。生月病院は常勤医師4人で従事している。本来の医師必要数は、平戸市民病院で8人、生月病院で56人。不足する医師は、長崎大学病院や労災病院、長崎医療センターなどから診療応援を受けている状況であり、非常に厳しい状況にあると言える。

●医療費の推移は、平成29年度決算で国民健康保険、後期高齢者医療、社保関係を合わせると総額で約130億円程度の医療費を要している

医療費の推移は、平成29年度決算で国民健康保険、後期高齢者医療、社保関係を合わせると総額で約130億円程度の医療費を要している

思うが、公立病院を維持継続するためには、平戸市民が市内の病院をどれだけ利用するかである。平戸市民または近隣自治体の市民が市内病院を利用する比率を分かっている範囲で示していただきたい。

●病院長

外来患者数の流出入動向という数字がある。これは高ければ高いほど市民が地元の病院を利用している数字になる。本市の場合は、平成27年度は68・9%、松浦市は34・29%。佐世保市や伊万里市に流れているのが見て取れる。なお、佐世保市は92%と高くなっている。

●平戸市民病院長

市内の医療機関を活用することによって、医療費の適正化が図られる。平戸市民本人の持っている医療上の履歴を知らない医療機関では、最初からいろいろなスクリーニング、診察が始まり、それに伴う多額の医療費を要する。

本市の医療機関を活用することによって、本人の持っている履歴、服薬の状況なども分かるので、市内の医療機関を活用し、健康相談ができる医師をつくるように各地域で健康教室を通じて市民の理解を求めている。

●次世代エネルギーパーク第二章



近藤 芳人議員

平戸市は恵まれた地理的条件から再生可能エネルギーの導入が盛ん（大型風力発電設備は市営1、三セク3、民間2の計6カ所）で25基が稼働する。大型太陽光発電施設は7カ所稼働中）で、平成24年に「次世代エネルギーパーク」（注：以降「エネパ」と表記）に認定された。7年たち、改めて平戸市が目指す政策についてたずねる。

FIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）の動向など先行き不透明な中、「平戸市エネパ運営協議会」（注：以降「協議会」と表記）は鳴りを潜めた感がある。

●文化観光工部長

風サミットを最後に協議会は開催しておらず、本年5月に発電事業者から「計画内容の実現は困難」という意見を頂いた。事業者や地域住民に有意義なものとなるよう計画内容を見直したい。

●地域新電力事業に期待する

地域新電力事業に期待する。有益な方法を検討していきたい。

●文化観光工部長

市営生月町風力発電所の改修計画や方針等はどうなっているか。
A 生月支所長
平成32年で耐用年数の20年となる。また同年10月には売電価格が下がる見込みのため解体の方向で考えてきた。
しかし、近年大きな故障もなく順調に稼働しているため、譲渡の可能性も含めて検討したい。
Q 世界遺産や平戸市景観計画の関係で建て直すべきないと聞かされた。
A 文化観光工部長
世界遺産の緩衝地帯、景観計画重点区域、重要な文化的景観選定地域では風力発電施設の設置を抑制している。当施設は景観計画重点区域内にある。
具体的には、直営施設は建て直し不可、直営施設以外は今後1回のみ建て直し可とする。
Q 生業は時代とともに変化する。エネパ計画書にも「過去および現在における先進地をアピールする」とある。相反する方針だ。
A 文化観光工部長
おっしゃるとおり相いれないことを書いている。補助事業が使える重要な文化的景観の追加選定を予定しているので活用し両立を模索する。

市政を問う!

平成30年9月定例会、7人の議員が一般質問に立つ (文責は、いずれも本人)

平成30年9月定例会

●県道・国道の高枝切りについて行政サービス格差是正について



松尾 実議員

市政懇談会において県・国道の高枝切りの要望が多く出ていたが、観光地として世界遺産登録後、観光客も驚くようなガードレールも見えないくらいに覆いかぶさっている雑草や大木や竹が両サイドから伸びた状態でトンネル化している国道383号線の現状である。市民・観光客が安心安全に利用できる道路として市独自の対応策は。

●市長

県・国道の伐採に関しては、県の事業である。危険な箇所の写真・位置図を添付し、管理所管である県に報告している。県は通行に支障がある場所は、所有者の同意を得て、車道は高さ4.5m、歩道は高さ2.5mの範囲で伐採をする。

●道路パトロール車であるが、道路の除草とかカーブミラーが汚れていれば拭いたりするのが道路パトロール車の役割では。

●建設部長

平戸・松浦地区のパトロールの年

間委託料は約1千万円。道路の監視業務で軽微な作業をする。

●行政サービスの格差是正に向けての取り組みについては。

●総務部長

平成28年度の途中から中部・南部出張所にパート職員を配置した。本年度より館長を特別職の非常勤に改め、館長以外の正規職員を2人体制として市民サービスの向上、公民館充実に努めている。

●中部出張所・南部出張所には公用車が1台も無い状態だが。

●田平支所長・生月支所長

田平支所は正規職員11人で公用車3台配置している。生月支所は正規職員11人・臨時職員2人で公用車4台配置している。

●副市長

人員の配置、公用車の配置については、確かに行政サービスの均衡を図らないといけない。今後の検討課題であると思う。

●平成29年度の全地区の陳情要望の成果は、北部59%、中部54%、南部56%、生月79%、田平63%、大島57%であるが、違いはなぜか。

●副市長

陳情要望の中身を十分に精査する。

一般質問

一般質問とは?

市議会議員が市に対して、市民の皆さん生活にかかわる大切なことを質問します。

なお、一般質問の様子は、インターネットで生中継しており、過去の一般質問の録画の中継を見ることができます。ぜひ、「平戸市議会インターネット議会中継」で検索してください。

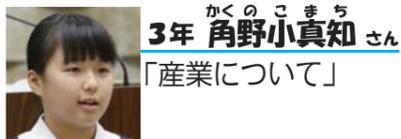
平戸市議会インターネット議会中継

【改選後からの一般質問】

議席番号	氏名	平成29年12月定例会	平成30年3月定例会	平成30年6月定例会	平成30年9月定例会	備考
1	山崎 一洋	○	○	○	○	
2	池田 稔巳	○	○	○	○	
3	山田 能新					副議長
4	大久保 堅太	—	—	—	—	議長
5	田島 輝美		○			
6	山内 政夫		○	○		
7	松尾 実	○	○	○	○	
8	小山田 輔雄	○		○	○	
9	神田 全記		○			
10	近藤 芳人	○	○	○	○	
11	井元 宏三	○	○	○	○	
12	松本 正治	○	○	○		
13	辻 賢治	○				
14	吉住 威三美					
15	竹山 俊郎	○			○	
16	山本 芳久					
17	山内 清二		○			
18	綾香 良一					

※○は一般質問を行なったとき。

度島中学校



3年 角野小真知さん 「産業について」

Q 今後も農業・漁業を持続させるためにも、若者へのサポートが重要。現状と今後のサポートは？
A 関係機関と連携し、技術研修の場の設定やその後のフォローアップ、研修期間中の生活資金の支給などを行なっている。今後も一人でも多くの若者に就業してもらえるよう、産地と一体となって新規就業者を育てていく取り組みを推進していく。



3年 赤木乃愛さん 「産業について」

Q 平戸産品のブランド化事業について、どのようなことに取り組んでいるか。
A 首都圏、関西圏、福岡都市圏でアンテナショップや公認飲食店の開設、総合デパートでの観光物産展など、平戸の知名度向上や販路・取引拡大を図れる取り組みを行なっており、地元生産者や加工業者などの所得向上にもつながっている。



3年 竹山美羽さん 「新たな産業の構築について」

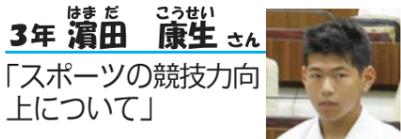
Q 雇用機会拡大のために行なっていることは？将来、ビジネスを始める場合、市から何らかの支援はあるか。
A 地場企業の設備投資の促進や市外から優良企業を誘致し、雇用機会の拡大を図る。新たにビジネスを始める際には、商工団体などと連携し、専門家を招いての勉強会や個別創業相談会を実施。操業する際に必要な資金の一部補助を行なっている。

平戸中学校



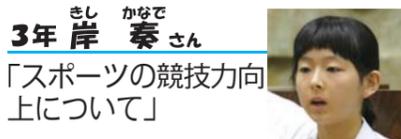
2年 山口颯太さん 「平戸市の教育について」

Q 学力向上のために、生徒が理解しやすい環境整備が望まれる。どう取り組もうとしているのか。
A ICT教育環境の整備やイングリッシュ・タウン事業など独自政策を交え、学力向上を目指している。全国調査では、市内半数の学校が県の平均を上回っている。全体を良くするためにも、皆さんが中心になって高め合う雰囲気を作ってもらいたい。



3年 濱田康生さん 「スポーツの競技力向上について」

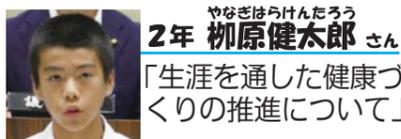
Q 全国レベルの選手育成のために、どのような方策を考え、実行しているのか。
A 生徒数の減少により部活動の維持が大変なところもあるが、活躍する選手もいるので、現状を伸ばす支援を考えている。そのために、レベルの高い相手との対戦機会の創出、指導力の向上、全国大会など遠征を後押しする補助制度を推進する。



3年 岸泰さん 「スポーツの競技力向上について」

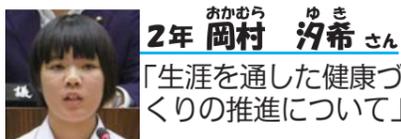
Q 市全体の競技力向上のために、優れた指導者を誘致したり、技能向上を図れる企画を考えていないのか。
A 本市のスポーツを推進する組織として、平戸市体育協会がある。競技団体によっては、大会の企画運営や外部コーチなどの指導者を見つける手助けも行なっている。選手自らがメリハリを持って取り組める環境整備を支援していきたい。

中部中学校



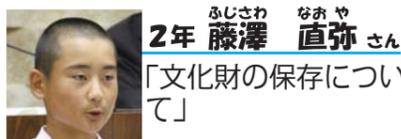
2年 柳原健太郎さん 「生涯を通じた健康づくりの推進について」

Q メタボの該当者が男女ともに県内の市町村で第1位であった。市民もこの状況を知らないはず。周知すべき。
A メタボ状態は痛くもかゆくもなく、改善に関心を持たせることが難しい。昨年、広報ひらどで特集を組み、健康づくりの取り組みについてお知らせした。出前講座や各地区の健康づくり推進員さんと協力し、健診の大事さをもっと伝えていきたい。



2年 岡村汐希さん 「生涯を通じた健康づくりの推進について」

Q メタボになる前に、市民一人一人が生活習慣を見直したり、健康意識を高める取り組みを考えては？
A 平戸市の健康診査の受診者は、平成29年度で3,892人、受診率は55.7%と県内の市では1位であった。土曜日・日曜日の休日健診や、夜間健診も行なっているので活用してもらいたい。皆さんも「早寝早起き朝ごはん」で、ぜひ規則正しい生活を。



2年 藤澤直弥さん 「文化財の保存について」

Q 今回世界遺産に登録された場所だけでなく、平戸には関連する場所が多くある。どう守っていくのか。
A 神聖な場所での振る舞い方を知らないであろうことに着目し、観光客に文化財の価値や見学マナーを伝える取り組みを進めている。地域の宝に触れてもらうことで、自分のまちを誇りに思うことにもなる。適切な活用で、宝を未来につなげていく。

中学生が市政を問う！平成30年度平戸市子ども議会開催

8月10日(金)、平戸市議会議場で「平成30年度平戸市子ども議会」を開催しました。本年度より市内の中学校を2つのグループに分け、今年度は5校の中学校から各3人が学校代表として一般質問を行いました。子ども議員の皆さんは、最初は緊張した面持ちでしたが、一般質問が始まると堂々と登壇し、素晴らしい議論を繰り広げました。

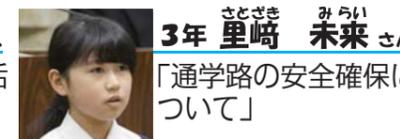


南部中学校



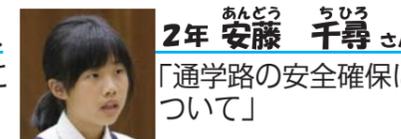
3年 田淵美央さん 「統廃合後の校舎の活用について」

Q 統廃合後の堤・中津良小学校の校舎の活用について、「学校跡地利用検討協議会」ではどのように話が進んでいるか。
A 協議会からはさまざまな意見がある。教育委員会では、全国の廃校活用の成功事例などを紹介している。跡地利用については、土台づくりが重要であるため、地元協議会の意見を優先し、有益な施設利活用となるよう協議を重ねたい。



3年 里崎未来さん 「通学路の安全確保について」

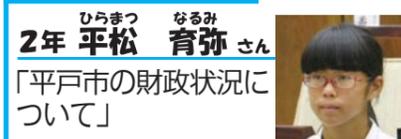
Q 通学路の防犯灯が少ない、歩道が少なく、道路の路肩に草が生い茂り危険との声を聞く。市の対応は？
A 防犯灯は自治会長からの申請により市が補助して設置している。夜道を一人で歩かないなど危険を回避する意識を持つことも重要。歩道の新設は事故が多い箇所など現場の状況を見て検討。草などが生い茂り危険な場所は、現場確認後対応する。



2年 安藤千尋さん 「通学路の安全確保について」

Q 南部地区には空き家が多くあり、通学路には今にも壊れそうな空き家もあり危険だ。市の対応は？
A 通学路付近の危険な空き家は数年前から所有者に指導している。また、所有者が不明の場合や管理拒否の空き家は、網かけなどの飛散防止や落下防止対策を行なっている。今後も地域と一体となり、安全・安心な協働のまちづくりに努める。

生月中学校



2年 平松育弥さん 「平戸市の財政状況について」

Q 平戸市が夕張市のように財政破綻した場合どうなるか。そうならないために私たちにできることは？
A 市民税・水道料金の引き上げ、公共施設の廃止や市の裁量で予算を編成できなくなる。中学生の皆さんには、公共施設の備品などを大切に使い、また、学業に専念し、将来の平戸市を担う人材として十分な知識を身につけてほしい。



3年 立石滯さん 「平戸市の財政状況について」

Q 現在の平戸市の財政状況など、過去10年との比較や今後10年の見通し、県内市町との比較について。
A 財政健全化に積極的に取り組んでおり、財政状況は良好。今後10年は、現時点では人口減少などにより税収などが減少し、予算規模も縮小されると考える。本市の財政は他市町と比較すると厳しい状況であり、今後も一層財政健全化に努める。



2年 塚本怜哉さん 「平戸市の行財政経営について」

Q 現在の平戸市の行財政運営は具体的にどのようなものか？
A 現在、行財政運営は良好だが、人口減少が続く今後を予測すれば大変厳しい状況にある。財政収支の均衡を保つため、平戸市財政健全化計画・第2次計画を策定し、平成29年度から5カ年の改善目標額を5億円減額と定め、最終的な目標数値を達成するための取り組みを推進している。